

東京尋常師範校長 元田 直校閱
新撰小學作文書 尋常科用 第三
東京 學園會 編纂

K121.82
36
3

K121.82

36

3

東京尋常師範學校長 元田直校閱

新 撰

小學作文書

尋常科用

第三

東京 學園會編纂

新撰 小學作文書第三

凡例

- 一、本卷ハ尋常小學科第三學年ノ課程ニ照シ、簡易ナル漢字交リ文、及日用書類ヲ記載セリ。
- 二、書牘文ト記事文トハ別々ニ書キタレド、コハ唯編纂上ノ都合ニヨリシカセシモノニテ、他ニ意アリテノ事ニアラズ、故ニ教授ノ際ニハ兩文一課ツ、交互ニ教フベシ。
- 三、書牘文ハ第一課ノ例ニ倣ヒ、生徒ヲシテ時々半切紙ニ認メ、其ノ書キ方ヲ演習セシムベシ。

新撰 小學作文書第三

凡例



一、本卷ハ尋常小學科第二學年ノ課程ニ照シ、簡易ナル漢字交リ文及日用書類ヲ記載セリ。

二、書牘文ト記事文ト別々ニ書キタレド、コハ唯編纂上ノ都合ニカセシモノニテ、他ニ意

アリテノ事ニアラズ、故ニ教授ノ際ニハ兩文一課ツ、交互ニ教フベシ。

三、書牘文ハ第一課ノ例ニ倣ヒ、生徒ヲシテ時々半切紙ニ認メ、其ノ書キ方ヲ演習セシムベシ。

明治廿三年三月

學園會



式書

口上

御大切の書物長々拝借
いたし有りがたく存分以上。

三月十日。

木村梅吉。

山田松右郎様。

圖ノ面表袋狀

任所
山田松太郎様

圖ノ面裏袋狀

任所
木村梅吉

第一課。
借物ヲ返ス文。
例。

俗
オタイセツノシヨモツ ナカナガ オカリマシ マシテ
アリガタウゾンジマス。

文
御大切の書物長々お借りいたし
有りがたう存じます。

練習。

次ギノ 俗語ヲ 文語ニ 改メヨ。

(一) 此品長きはやくいたまいて、ありがたう
がんどます。

(二) 机台の屏風ながくはやくいた
まして、ありがたうがんどます。

(三) 先日はいやくいたまいたる作文書、今日
おかへし申す。

次ギノ 題ニヨリテ 手紙文ヲ書ケ。

- (一) 借りたる 修身書を返す文。
- (二) 借りたる 椅子を返す文。

第二課。 同返事。

例。

俗
ゴヨウダテ オキミタ シヨモツ オカヘシ クダサレ、タシ
カニウケトリ マウシマシタ。

文
所用之置小書物返下され、
慥に精取申す。

練習。

次ギノ 俗語ヲ 文語ニ 改メヨ。

(一) 托かへー くだされ ましたーよもつ、たーかにうけ
とり まりーました。

(二) 沛用立 ねき ました 書物、たーかに うけとり
ました。 沛風呂敷 は 沛使の者へ 沛
返ーやーます。

次ギノ 題ニ 由リテ 手紙文ヲ 書ケ。

- (一) 椅子を返されたる時の返事。
- (二) 屏風を返されたる時の返事。

第三課。 人ヲ 招ク 文。

例。

俗
ゴクラスウ デモ、コンヤワ多クシノ多へ オイデ
ク多サイ。

文
沛苦勞ながら、今晚拙宅へ沛出
下され度也。

練習。

次ギノ 俗語ヲ 文語ニ 改メヨ。

(一) 今日 午後四時頃、わたくしーのたぐへおいで

ください。

(二)明日午前八時頃、沙苦勞ながら、拙宅へ
出て下さい。

(三)済用おくりあはせ、明朝おいでください
ませ。

第四課。同返事。

第一例。

俗
オテガミノオモムキ シヨウチ イタンマシタ。
カナラズ マ井リマセウ。

文
済手紙のねむむき承知いたし
かならず系上仕るべく。

第二例。

俗
ヨシドコロナイ ヨウガアリヌカラ マ井ラレ
マセヌ。

文
授をまき用事これありの旨出願
いたしかね。

練習

次ギノ俗語ヲ文語ニ改メヨ。

(一) 沓紙のねむきしようちいたし来ました。明日は相違なくまゐりませう。

(二) 今日是用事がありますから、ねまのどくながらまゐられませぬ。

次ギノ手紙ニ對スル返事ヲ書ケ。

(一) ちよつと沓相違いたし度旨、今晚拙宅へは出下され度。

(二) せひ沓面會仕度旨、は苦勞ながらは出下されべく。

第五課。物ヲ贈ル文。

例。

俗
ソツノシチデアリマスガ、モチヒトギウシン
ジヤウイタシマスオウケトリクダサイ。

文
粗末の品にゆいども餅一重進
上いたしゆは落手下され度。

練習。

次ギノ俗語ヲ文語ニ改メヨ。

(一) 些少の品でありますが、赤飯一重進上

いたります。

(二)は^{シナ}粗末でありますが、進上いたります。お
うけとりください。

次ギノ手紙文ヲ書ケ。

(一)砂糖をわくる文。

(二)鯛をわくる文。

(三)玉子^{ゴマゴ}をわくる文。

第六課 同返事。

例。

俗
タマイマ オツカヒ ヲ モツテ、メツラシイ シナ オク
リクダサイ マシテ アリガタウ ヅンジマス。

文
只今^{シマ}泲使^シを以て、珍らしき^{ウツクシ}お酒^{サケ}を
贈り下され、有りかたく存じます。

練習。

(一)見事な梅の花、わくりくださいまして、
ありがたう存じます。

(二)只今泲使をもつて、けっこうなる野菜^{ヤサイ}
澤山^{サン}わくりくださいまして、まことにありがたう

がんどます。

次ギノ手紙文ヲ書ケ。

(一) かつをぶー を ねくられたる 禮の文。

(二) 葡萄酒を ねくられたる 禮の文。

(三) 葉の花を ねくられたる 禮の文。

第七課。

例。

俗
サクブンシヨ、タダイマゴフヨウ ナラバ、ニサンニ
チノアイダ、オカリマウシタイ。

文
作文書只今は不用にゆはぶ、兩
三日の間お借いたし度。

練習。

次ギノ俗語ヲ文語ニ改メヨ。

(一) 只今は不用なら、屏風一雙 ねかりまう

ーたい。

(二) 誠にやーかねますが、膳櫃 十人前 ね
かりまうーたい。

次ギノ手紙文ヲ書ケ。

(一)新聞紙を借る文。

(二)猿蟹合戦の草紙を借る文。

(三)地圖を借る文。

第八課 同返事。

例。

俗
オシマウシヨシノ サクシニミ、サンアゲヌカラ、元ル
ゴラシクダサイマシ。

文
漸中越の作文書き上のお習ひゆり

漸説をよまらるべくし。

練習。

次ギノ俗語ヲ文語ニ改メヨ。

(一)漸中越のお拍たつかひにあげまゝた
から、わらけとりください。

(二)御せよしたかひ、讀本一冊さゝあげます。
わらけとりください。

次ギノ手紙文ヲ書ケ。

(一)新聞紙を借りにつかはされたる返事。

(二) 草紙を借りにつかはされたる返事。

第九課 人ヲ誘フ文。

例。

俗
メウニテハキウカニツキ、ツミクサニオイデマセ
ヌカ、ゴウガフオキキマウシタイ。

文
明日は休暇に付、摘草に出回
道仕り度、此都合お伺ひ。

練習。

次ギノ俗語ヲ文語ニ改メヨ。

(一) 明日 天氣ならバ 釣にわいでませぬが、ごつ
がふ うかごひ ます。

(二) うちこちの 櫻の花が 今盛りだるうで
ござりますが、 花見は いかうでせう、
ごつかふ うかごひ ます。

次ギノ手紙文ヲ書ケ。

- (一) 梅見に誘ふ文。
- (二) 花火見物に誘ふ文。
- (三) 菊見に誘ふ文。

四木の子取に務ふ女。

第十課 同返事。

例。

俗 セツカクオサツヒ多サレマシタド、コシチハヨシドコロチ
イヨウガアリヌカラ、オトモイタサレマセヌ。

折角迄さういひ下されは(ごも)今
日、授なき用事、これありは、
文 供いたし兼は。

練習。

次ギノ 俗語ヲ 文語ニ 改メヨ。

(一) 今日、授なきようむきが、ありますから、
文 断 ちーます。

(二) 済ちーこーの、おもむき、ようち、いた
ました。明日、文 供いたしませう。

次ギノ 手紙文ヲ 書ケ。

- (一) 花見に務はる、返事。
- (二) 花火見物に務はる、返事。

第十一課 祝ヒノ文。

俗 センジツダイシケン デ オアガリ ナサレタソウデ
ゴザリヌオメテタウツンジマス。

文 先日大試験にて此及第なされ
由目出及存ト存リト。

練習。

次ギノ 俗語ヲ 文語ニ 改メヨ。

(一) 昨日ニミニ、小學校へ此入學なされたりとて
ござります、ためであうがんどます。

(二) 昨夜活男とたんじやうなされたらうで

ござります、ためであうがんどます。

第十二課。 一般練習。

次ギノ 俗語ヲ 文語ニ 改メヨ。

(一) 鹽鮎一尾 沖歲暮のころにさしあげ
ます。わうけどりください。

年玉ヲ贈ル文。

(二) 沖年玉の布迄に用武張進上いた
ます。わうけどりください。

貸シタル物ヲ催促スル文。

(三) 濟用立置ましたミニ函入用ですから、この
つかいへにかかへて下さい。

地圖ヲ返ス文。

(四) 先日はいよくいたりました日本の地圖は
かへりませう。お受け取りください。

届物ヲ頼ム文。

(五) 此傘は世話ながら、学校へは届けくだ
さい。

出先ノ人ヲ召返ス文。

(六) 急用ができましたから、は書面は披見次
第に返して下さりませ。

仕立物ヲ頼ム文。

(七) 濟面倒ながらは、この端物で別紙寸法書の
通り羽織は仕立ください。

醫師ヲ頼ム文。

(八) 昨夜から腹痛になりますから、ごらうながら
ちよつと診察ください。

馳走ニナリシヲ謝スル文。

(九)昨日の大勢オホセまゐり、いろいろごちそうに
なりました。ありがとうございました。

客キヤクヲ招マツク文。

(十)何ナニの風情フウセイもござりませぬと、沏茶チヤをあけ
たりござりますから、午後三時頃ゴロ ねいで
ください。

第十三課

例。

櫻ハ山中ニ生ユ、又多ク庭園ニ植ユ

テ、其ノ花ヲ賞ス。

練習。

(一)桃モモ

(二)梅

(三)椿ツツジ

第十四課

例。

綿ハ畑ニ作ル植物ニテ、ヨリ糸ヲ
トリテ、布ヲ織ル。

練習。

(一)苧アサ (大麻)

(二)茶チヤ

(三)稻イネ

(四)麥ムギ

第十五課

例。

松ハトキハ木ニシテ其ノ葉針ノ如久其ノ皮ウロノ如シ。

練習。

次ギノ俗語ヲ文語ニ改メヨ。

- (一) 杉スギハトキハ木デ、ソノ葉ガ檜ヒノキニ似テサキガトガリ、ソノ皮モ檜ノヤウダ。
- (二) 檜ヒノキハトキハ木デ、ソノ葉ガ鱗ウツキノヤウニ枝ニツキ

ソノカハハ杉ニ似テヒラタイ。

第十六課

例。

桐ハ木質ヤハラカニシテ輕ク、タシスナカモチ等ヲ作ルニ用フ。

練習。

- (一) 檜ヒノキ。
- (二) ケヤキ(櫻)。
- (三) 松。
- (四) 杉。

第十七課

第一例。

(俗) シヨクモツハコナレヨイモノヲタベルガヨイ。
(文) 食物ハコナレヨキモノヲ食フベシ。

第二例。

(俗) ミダリニハナヲトツテハナラナイ。
(文) ミダリニ花ヲ取ルベカラズ。

第三例。

(俗) テシガハナダクモリタ、アシタハアメガフルデアラフ。
(文) 天甚ダ曇レリ、明日ハ雨フルベシ。

練習。

次ギノ俗語ヲ文語ニ改メヨ。

- (一) 兄アエト姉アエトハウヤマフガヨイ。
- (二) 弟オムトト妹イモトトハイツクシムガヨイ。
- (三) アヤウイ遊ビヲシテハナラナイ。
- (四) 父母ノオホセニソクイテハナラナイ。
- (五) アノ子ハ五六歳サイダラフ。
- (六) ジヤセヌクダモノハタベテハナラナイ。

第十八課。

例。

鯛ハ海中ニ住ム魚ニシテ、色赤ク、味旨シ。

練習。

(一)カヅラ。(鰹)

(二)マグロ。

第十九課。

例。

鯰ハ鱗ナク、頭大キナル魚ニシテ、常ニ池沼等ニ住ム。

練習。

次ギノ俗語ヲ文語ニ改メヨ。

(一)ドギヤウハウナギニニタウラデ、ウロコガナク、カラダノナガイウラダ。

(二)コヒ(鯉)ハイケヌマナドニスムウラデ、カタチガフナニニテオホキク、ツノアチハヒガハナダヨロシイ。

第二十課。

例。

余ハ昨日山口君ト隅田川ヘ釣ニ

行キタリ。

練習。

次ギノ俗語ヲ文語ニ改メヨ。

(一)ワタクシハキノフスミダ川ヘツリニキテ、オホキナフナヲツリマシタ。

(二)ワタクシハミ月ミ日ミ町ニキテ、シヨモツヲカヒマシタ。

(三)ワタクシハ佐藤君トアシタ花見ニ行ク約束ヲシマシタ。

(四)ワタクシハ昨日午前七時汽車ニ乗りテ東京ニキ、午後六時家ニカハリマシタ。

第二十二課。

例。

徳利ハ土ヲ焼キテ作り、酒醬油等ノ液體ヲ入ル、器ナリ。

練習。

(一)皿

(二)鍋

(三)釜

第二十二課。

例。
鍬ハ鐵ニテ製シ木ノ柄ヲ父、田畑
ヲ耕ス具ナリ。

練習

- (一)カマ(鎌)
- (二)ナタ(鉋)
- (三)椀(椀)
- (四)膳(膳)

第二十三課。

例。

春サク花ハナニデアリマスカ。
春サク花ハ梅桃櫻山吹カイダウ

等ナリ。

練習。

次ギノ答ヲ文章ニテ書ケ。

- (一)夏サク花ハナニデアリマスカ。
- (二)秋サク花ハナニデアリマスカ。
- (三)夏熟トクスル菓クワハナニデアリマスカ。
- (四)秋熟スル菓ハナニデアリマスカ。

第二十四課。

例。

穀類ニハドシナモノガアリマスカ。
穀類ニハ米麥豆粟黍ノ類アリ。

練習

次ギノ答ヲ文章ニテ書ケ

- (一) 野菜ニハドシナモノガアリマスカ。
- (二) 果物ニハドシナモノガアリマスカ。
- (三) 肉類ニハドシナモノガアリマスカ。
- (四) 衣服ニハドシナモノガアリマスカ。
- (五) 農具ニハドシナモノガアリマスカ。

(六) 建具ニハドシナモノガアリマスカ。

第二十六課

例。

(俗) キヨ子シノナツハコトシノナツヨリアツカッタ

(文) 去年ノ夏ハ今年ノ夏ヨリアツカリキ。

練習。

次ギノ俗語ヲ文語ニ改メヨ。

(一) ワタクシハサクジツ山田君ノトコロニキマシタガ、

山田君ハルスデアリマシタ。

(二)ワタクシハサクシツビヤウキデアリマシタ故ニ學校ヘユカナカツタ。

(三)義經ハ頼朝ノ弟デ、軍ノ上手ナ人デアリマシタ。

(四)辨慶ハ義經ノ臣デ、力ガ強イ人デアリマシタ。

(五)正行ハ正成ノ子デ、天子ニ忠義ナル人デアリマシタ。

第二十七課。

例。

狐ハ犬ニ似ル獸ニシテ、晝ハ穴ニカク
レ、夜出テテ食物ヲサガス。

練習。

次ギノ俗語ヲ文語ニ改メヨ。

(一)猿ハ人ニ似タケモノデ、ヨク人ニナレ、マタヨク人ノ子ヲシマス。

(二)鳶ハ鷹ニ似タ鳥デ、空中ヲトビマリ、時々

下リテ、食物ヲツカミ去リマス。

(三) 梟フクロハミンツクニ似タ鳥デ、晝ハカク、夜ヨルデ、
小鳥ヲトリテ食マス。

第二十八課。

例。

○馬。

オトナシキ獸。能ク車ヲヒク 又能ク
人ヲ乗セテ走ル。

馬はひとなりき 獸にして能く車

をひき、又能く人を乗せて走る。

練習。

(一) 牛。

強ツヨクキ獸ケモノ。重荷オモヲセオフ。田ヲ耕カス。

(二) 犬。

賢カシキ獸。家ヲ守ル。

(三) 子ブミ。

人家ニ住ム獸。器物ヲカジル。穀物ヲ盗ヌスム
食フ。

第 三
第 三
(四) 雁。

水鳥。秋ハ北ヨリ來ル。春ハ北ニ歸ル。

第二十九課。

例。

○富士山。

駿河ノ國ニアリ。日本第一ノ高山。山ノ頂ニハ四時雪ノ絶エルコトナシ。

富士山は駿河の國にありて日本第一の高山なり。この山の頂には

四時雪の絶ゆることなり。

練習。

(一) 利根川。

坂東ゴジドク太郎トモイフ。上野カミノノ國ヨリ出ヅ。東ノ方ニ流ル。下總シモフサノ鉾子ホコシニテ海ニ入ル。

(二) 大坂。

海邊ウミノヘノ都會トウカイナリ。攝津セツノ國ニアリ。昔ヨリ商業シヤウゲンノ盛ナル地サカシナリ。

第三十課。受取。
第一例。
覺。
一紙包。
右體に受取中作也。
明治年月日。
姓名殿。
姓名。

(三)東京。
武藏ノ國ニアリ。日本ノ都ナリ。土
地廣シ。人口多シ。

第三十課。受取。
第一例。
覺。
一紙包。
右體に受取中作也。
明治年月日。
姓名殿。
姓名。

練習。

右ノ書式ニナラヒテ次ギノ受取ヲ書。

- (一) 通運會社より薦色紙壹箇。
- (二) 本屋より作文書四冊。
- (三) 紙屋より半紙五十帖。
- (四) 村役場より速状壹通。
- (五) 友人より風呂敷色紙、手紙壹通。
- (六) 穀屋より白米壹斗八升、麦貳斗四升。
- (七) 呉服屋より木綿貳端絹壹匹。

第二例。

記。

一金貳圓四拾錢、但橋子貳脚の代。

右正に受取小也。

明治年月日。

住所。

姓名。

姓名殿。

第三例

証

一金貳圓叁拾錢。

半紙百五拾帖の代。

一金壹圓貳拾五錢。

筆貳袋の代。

一金叁圓五拾五錢也。

右之通り正に請取生也。

明治年月日。

住所。

姓

名。

姓名殿

練習。

右ノ書式ニナラヒテ、次半ノ受取書ヲ書ケ。

(一)炭壹俵の代金五拾八錢。

(二)白米四斗貳升の代金貳圓九拾五錢。

(三)七日の日傭賃金壹圓七拾五錢。

(四)薪拾把の代金壹拾錢、炭壹俵の代金五拾六錢。

(五)砂糖三斤の代金貳拾四錢、鯉首四本の代金壹拾

六錢。

(六)白木綿三端の代金壹圓貳拾錢、越後縮貳端の代

金四圓四拾後。

第三十一課。送り状。

例。

記

一玄米拾俵。

但し壹俵に付四斗壹升入

右本日通運丸にて積送り申上如

明治年月日

住所

何某

何雅殿

練習。

右ノ書式ニナラヒテ、次ギノ送り状ヲ書ケ。

(一) 製茶五拾櫃ヒツの送り状。

(二) 注文を受たる雞卵拾貳箱。

(三) 通運倉社より左の品物を送る。

鹽……………拾貳俵。

酒……………八樽。

新撰 小學作文書第三終

明治二十三年五月三日印刷 今年五月五日出版
明治二十三年八月廿日訂正再版印刷 今年八月廿日出版

定價九錢

編纂

學園會

發行者兼
印刷者

東京市神田區佐久間町三丁目十八番地

森本芳之助

發賣所

東京市日本橋區橋町四丁目十六番地

中村與右衛門

發賣所

東京市日本橋區通油町十八番地

水野慶治郎



